

鋸山山頂ポスト命名を

鋸山ロープウェイ(本社・富津市)は、開業50周年を記念し鋸山山頂展望台に設置した房州石の郵便ポストの名前を募集している。

房州石は江戸時代から鋸山で切り出された石で、建築用石材として靖国神社の土台にも使用されるなど重宝された。ギザギザに切り立つ山の崖は採石の跡で、その名の由来にもなった。しかし、大正時代になると、その座をセメントに取って代わられ、1980年代を

房州石製

最後に採石は行われなくなった。今回、同社は開業50周年を機に、山が房州石の産地として栄えた歴史をPRするとともに、ロープウェイが走る同市金谷地区が「恋人の聖地」としても知られていることから、大切な人に手紙を出してもらおうと、同市出身の彫刻家榎



房州石のポストと制作者の榎本さん(鋸山ロープウェイ提供)

本恵花さんにポストの制作を依頼し、昨年12月に設置した。そして、ポストの存在をより多くの人に知ってもらい、親しんでもらおうと名前を広く募集することにした。

応募は専用のウェブサイト(<http://kanayabase.com/blog/news/ishiponame>)からか、同駅などに設置されている応募箱に投函する。期間は3月末まで。

採用者(複数の場合は抽選)には、同地区で優待を受けられるクーポンセットなどが贈呈される。問い合わせは同社(0439・69・2314)へ。